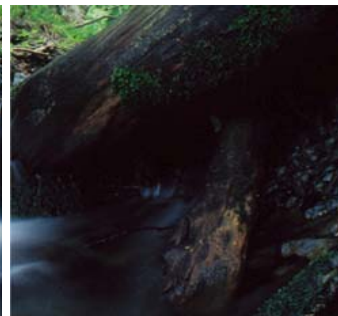
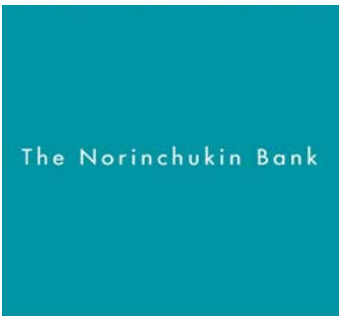


**農林中央金庫**  
The Norinchukin Bank  
*2009年12月末自己資本・財務等の状況について*  
2010年2月23日



## ～ 2009年12月末自己資本・財務等の状況の公表について ～

- 当金庫では、皆様に当金庫の経営状況をより良くご理解いただくために、従来から開示している自己資本の額や比率に加え、昨年の6月末より四半期の財務概況の公表を開始しております。
- 今回公表させていただく四半期の財務諸表は監査法人による監査を受けておりません。また、当金庫内の財務諸表の適切性にかかる代表者確認プロセスを経ておりません。
- 皆様におかれましては、以上の点をご理解いただきましたうえで、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

## ■ 自己資本比率18.29%， Tier I比率13.00%（速報値）

- 自己資本比率は18%超と強固な資本基盤を維持。

## ■ 有価証券等の評価損益は▲9,963億円（2009年3月末比1兆0,965億円の改善）

- 株式市況の改善およびクレジットスプレッドの縮小等により，有価証券等の評価損益は着実に改善。

## ■ 2009年度第3四半期（累計）の経常利益は1,326億円

- 保守的な財務運営により安定的な利益水準を確保。

## ～ 自己資本比率は健全な水準を維持 ～

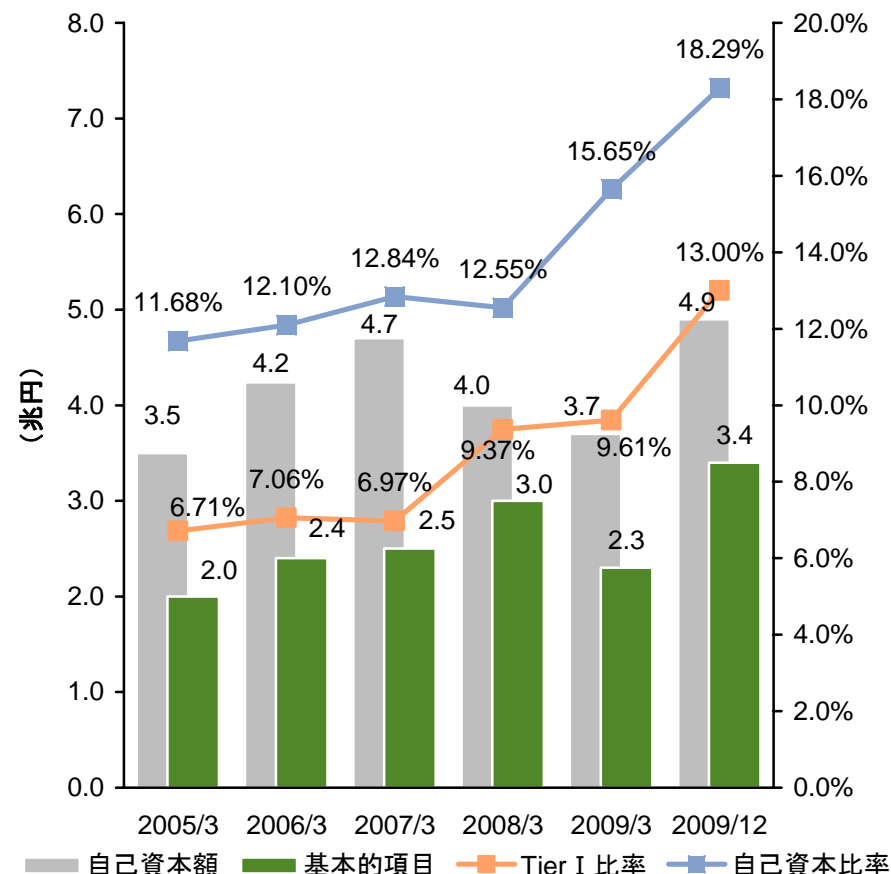
- 有価証券評価損の縮小を主因として自己資本額は増加
- 自己資本比率は18.29%（前年度末比2.64%上昇），Tier I比率は13.00%（同3.39%上昇）と高水準を維持

自己資本の内訳（単位：億円）

	2009年 3月末	2009年 12月末	増減
1 基本的項目（Tier I）	23,006	34,883	11,877
2 うち資本金および資本剰余金	34,463	34,509	45
3 うち利益剰余金	7,886	8,490	604
4 うちその他有価証券評価差額金	-18,718	-7,431	11,286
5 補完的項目（Tier II）	17,700	17,858	157
6 うち永久劣後債務	14,760	14,860	99
7 うち期限付劣後債務および期限付優先出資	2,707	2,768	60
8 控除項目	3,271	3,645	374
9 自己資本額	37,435	49,095	11,660
10 リスク・アセット	239,171	268,330	29,159
11 自己資本比率（国際統一基準）	15.65%	18.29%	2.64%
12 基本的項目（Tier I）比率	9.61%	13.00%	3.39%

注：2009年12月末現在，単体ベース  
出所：農林中央金庫

自己資本比率の推移



# 損益計算書サマリー（単体）

～ 2009年度第3四半期（累計）の経常利益は1,326億円 ～

■ 保守的な財務運営により安定的な利益水準を確保

	2009年 4月～12月
1 経常収益	10,368
2 うち資金運用収益	5,751
3 うちその他業務収益	2,130
4 うちその他経常収益	2,393
5 経常費用	9,042
6 うち資金調達費用	5,060
7 うちその他業務費用	1,138
8 うち事業管理費	819
9 うちその他経常費用	1,930
10 経常利益	1,326
11 特別利益	15
12 特別損失	20
13 税引前純利益	1,321
14 純利益	597

■ 国債等債券売却益1,615億円

■ 金銭の信託運用益2,244億円

■ 国債等債券売却損389億円

■ 国債等債券償却372億円

■ 与信関係費用1,453億円

## ～ 堅実なポートフォリオ運営 ～

- 総資産は、中短期の債券の積み増しを主因に約6兆円増加

(単位：億円)	2009年 3月末	2009年 12月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	109,478	119,807	10,329	9.4%
2 有価証券	395,588	450,300	54,712	13.8%
3 金銭の信託	56,539	70,204	13,664	24.1%
4 現金預け金	27,633	13,985	-13,647	-49.3%
5 その他	35,753	31,999	-3,753	-10.4%
6 資産の部合計	624,992	686,297	61,305	9.8%
(負債の部)				
7 預金	375,015	393,541	18,525	4.9%
8 譲渡性預金	3,212	6,890	3,678	114.5%
9 農林債	52,550	55,302	2,752	5.2%
10 借入金	58,736	22,439	-36,296	-61.7%
11 その他	110,755	171,743	60,988	55.0%
12 負債の部合計	600,269	649,918	49,648	8.2%
(純資産の部)				
13 資本金	34,213	34,259	45	0.1%
14 資本剰余金	250	250	-	-
15 利益剰余金	7,881	8,482	601	7.6%
16 その他	-17,621	-6,611	11,009	-
17 純資産の部合計	24,723	36,379	11,656	47.1%

- 中短期の国債等債券を中心とした運用資産の増加

- 大宗を占める会員からの預金が調達の基盤

- レポ等による外貨調達の増加が主因

- 純資産の増加には有価証券の評価損の減少が貢献



## ～有価証券等の評価損は縮小～

- 有価証券等の評価差額は9,963億円の評価損（2009年3月末比1兆0,965億円改善）
- 評価差額改善の主要因は、株式相場の回復およびクレジット・スプレッドの縮小

(評価差額 単位：億円)		2009年 3月末	2009年 12月末	増減額
【その他有価証券】				
1	株式	234	634	399
2	債券	474	-17	-492
3	国債	469	-0	-469
4	地方債	1	0	-1
5	社債	3	-17	-21
6	その他	-18,081	-9,122	8,959
7	外国債券	307	-1,088	-1,395
8	外国株式	-140	-41	99
9	その他	-18,248	-7,992	10,255
10	うち投資信託	-18,196	-7,966	10,229
11	小計 ①	-17,373	-8,505	8,867
【その他の金銭の信託】				
12	その他の金銭の信託 ②	-464	627	1,092
【保有目的を変更した有価証券】				
13	その他有価証券から満期保有目的の債券へ 変更したもの ③	-3,090	-2,085	1,004
14	合計 (①+②+③)	-20,929	-9,963	10,965

- 内外株式市況の回復、クレジットスプレッドの縮小が、ポートフォリオの評価損の改善に寄与

注：満期保有目的の債券の貸借対照表計上額と時価との差額は5,017億円。

2009年12月末現在,単体ベース

出所：農林中央金庫

# 証券化商品への投資について（単体：速報値）

## ～ 証券化エクスポージャー（注1）（注2） ～

■ 証券化商品のポートフォリオは①高格付の、②一次証券化商品（資産担保証券（ABS））が中心

### 1 商品区分別エクスポージャー

（単位：億円）

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比	
							3月末比	3月末比
1 資産担保証券(ABS)	24,835	24	570	107	11	25,548	-945	
2 住宅ローン担保証券(RMBS) (注3)	4,767	339	155	115	371	5,749	-776	
3 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	1,302	1,626	1,126	729	623	5,409	-619	
4 債務担保証券(CDO)	4,486	7,181	3,911	1,585	2,634	19,800	-2,147	
5 ローン債務担保(CLO)	3,832	6,465	3,767	1,230	1,930	17,226	-1,854	
6 証券化商品担保(注4)	613	564	94	323	675	2,272	99	
7 債券担保(CBO)他	41	151	49	31	28	302	-391	
8 その他	-	-	-	10	592	602	-100	
9 合計	35,392	9,172	5,763	2,548	4,233	57,110	-4,589	

### 2 商品区分別評価差額・損失額

（単位：億円）

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比		損失額(注5)
							3月末比	3月末比	
10 資産担保証券(ABS)	-355	-2	-26	-1	-2	-388	299	-	
11 住宅ローン担保証券(RMBS) (注3)	3	-14	15	-20	12	-4	355	-167	
12 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	-158	-55	-82	-58	-49	-405	35	-26	
13 債務担保証券(CDO)	-126	-482	-441	-161	-26	-1,238	847	33	
14 ローン債務担保(CLO)	-98	-339	-451	-122	-83	-1,094	436	-47	
15 証券化商品担保(注4)	-26	-120	-8	-58	57	-156	280	62	
16 債券担保(CBO)他	-1	-22	18	19	-	12	130	19	
17 その他	-	-	-	3	-	3	3	-6	
18 合計	-638	-554	-535	-238	-65	-2,032	1,542	-167	

### 3 通貨別エクスポージャー

（単位：億円）

	エクスポージャー	3月末比	評価差額		損失額(注5)
			3月末比	3月末比	
1 米ドル	40,427	-3,265	-1,331	1,215	-218
2 ユーロ	8,033	-46	-599	203	56
3 英ポンド	466	23	-17	5	-2
4 円	8,183	-1,301	-84	118	-3
5 合計	57,110	-4,589	-2,032	1,542	-167

注1: 証券化商品の定義は、バーゼルIIにおける証券化エクスポージャーを基本とした内部定義による。サブプライム関連商品を含む。

注2: 証券化エクスポージャーは損失額、評価損の反映後。一部のCMBSにおいてバーゼルIIIにおける特定貸付債権に含まれるエクスポージャーが証券化エクスポージャーと別に1,269億円あり(評価差額△12億円)。

注3: サブプライムRMBSを含む。米国住宅金融公社関連のモーゲージ担保証券を含まない。

注4: ABS-CDO, CDO of CDO's等の2次、3次証券化商品。サブプライムRMBSを含むABS-CDO, CDO of CDO'sを含む。

注5: 損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損の合計。

注: 2009年12月末現在、単体ベース(ただし、上記財務計数については、監査法人監査を受けておりません)

出所: 農林中央金庫



# サブプライム関連商品, その他商品への投資について (単体: 速報値) 農林中央金庫

## ～ サブプライム関連商品, モノライン向け与信, レバレッジドローン等 ～

■ サブプライム関連商品へのエクスポージャーは1,241億円 (損失額182億円, 評価差額51億円の反映後)

### 1. サブプライム関連商品への投資の状況(注1)(単位: 億円)

#### (1) サブプライム住宅ローン担保証券 (サブプライムRMBS:一次証券化商品)(注2)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
1 AAA	292	16	31	56	-	
2 AA	107	-199	-14	155	-	
3 A	40	-137	14	76	-3	
4 BBB	36	-62	-17	22	-	
5 BB+以下	371	328	12	12	-164	
6 合計	849	-53	26	323	-167	

#### (2) サブプライムRMBSを含むABS-CDO(二次証券化商品)(注3)(注4)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
7 AAA	-	-22	-	19	-	
8 AA	-	-	-	-	-	
9 A	-	-3	-	-	-	
10 BBB	23	-32	-2	5	-	
11 BB+以下	204	7	44	44	-11	
12 合計	228	-50	41	68	-11	

#### (3) サブプライムRMBSを含むCDO of CDO's(三次証券化商品)(注5)(注6)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
13 AAA	-	-163	-	39	-	
14 AA	-	-	-	-	-	
15 A	-	-3	-	-	-	
16 BBB	-	-	-	-	-	
17 BB+以下	164	118	-17	-17	-2	
18 合計	164	-49	-17	22	-2	

#### (4) サブプライム関連商品計 ((1)~(3)の合計)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
19 AAA	292	-169	31	115	-	
20 AA	107	-199	-14	155	-	
21 A	40	-144	14	76	-3	
22 BBB	60	-94	-19	27	-	
23 BB+以下	739	454	38	39	-178	
24 合計	1,241	-153	51	414	-182	

注1: サブプライム関連の融資は行っていない。

注2: ピンテージ別比率は①2004年以前99%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注3: ピンテージ別比率は①2004年以前46%, ②2005-2006年42%, ③2007年以降10%。

注4: SIVが発行するキャピタルノート276億, 評価差額なし, 減損なし, を含む。

注5: ピンテージ別比率は①2004年以前100%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注6: サブプライムRMBSを一部でも含むCDO of CDO's。但しサブプライムRMBSの含有率は僅少。

### 2. モノライン関連商品への投資の状況(注7)(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
1 モノラインによる保証付金融商品(注8)	1,604	-50	-321	113	-	
2 証券業務におけるモノライン利用	-	-	-	-	-	
3 合計	1,604	-50	-321	113	-	

### 3. レバレッジドローンへの投資の状況(注9)(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比	
		3月末比	3月末比
4 国内レバレッジドローン	404	-24	-
5 海外レバレッジドローン	1,195	-363	-
6 合計	1,600	-387	-

### 4. トレーディング等の状況

当金庫はABCP, SIV, レバレッジドローンの組成, 引受, トレーディングを行っておらず, 関連する商品のトレーディング勘定での保有や連結非対象としているオフバランス取引は行っていない。ただし顧客企業の資産流動化を目的としたSPCを1件スポンサーしている(与信残高768億円)。

### 5. 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注10)(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
7 エージェンシー・モーゲージ債	27,337	7,280	693	-324	-	
8 エージェンシー債	19,162	6,313	-59	-719	-	
9 合計	46,499	13,594	633	-1,044	-	

#### [参考]

・ファンド投資内のサブプライム関連商品の状況  
サブプライム関連商品を主な投資対象とするファンドの保有はないが, 当金庫が運用を委託しているファンドにおいて, サブプライムRMBS(一次証券化商品)が含まれるものがある。(\*)  
ファンド内のサブプライムRMBS残高674億円, 評価損益△171億円。

(\*) ファンド内個別資産が把握できるファンドにおける当金庫調査ベース

注7: モノラインによる保証付金融商品と別にモノラインのCDS等を含む証券化商品(CDO)を保有。

当該証券化商品の保有額にモノラインのCDS等の比率(含有率)を乗じたエクスポージャーは48億円。

注8: 米国CLO, 米国ABS等で裏付資産の保証前格付けはいずれも投資適格相当以上を確保。また被保証商品にサブプライム関連商品はない。

注9: レバレッジドバイアウトを主な資金使途とする買出で内部管理の定額による。貸倒引当金は66億円。

注10: この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は14,148億円。

注: 2009年12月末現在, 単体ベース (ただし, 上記財務計数については, 監査法人監査を受けておりません)

出所: 農林中央金庫

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。